

カレード通信 Vol.59

2022年
9月号

小澤館長のコラム Vol.15

「長期休館には理由があります」それは「曝書」をするから」

さて、「曝書」って何だか分かりますか？「ばくしょ」と読みます。さっそく辞書で調べてみましょう。『大辞泉』（第2版2012年小学館）によると「書物を虫干しすること。蔵書を取り出し、広げて風に当てること。」とあります。図書館では毎年、台帳と実際の本を1冊1冊照合する点検作業をします。これにより本が正しく所蔵されているか（無くなっていないか）確認します。これを古くからの慣習で曝書と呼びますが、最近では蔵書点検という言い方が一般的です。皆さんの財産である本を大量に所蔵している図書館ですからこれはとても大切な作業でしかも大変な作業です。カレードでは今年10月中旬に「特別整理期間」として蔵書点検を行います。この期間、市民学習センターは通常通りですが図書館はお休みですのでご注意ください。毎年ちゃんとお知らせしているのに「なんでこんなに長い期間休むんだ」「せっかく来たのに何で休みなんだ」と言われます。おまけに「図書館の仕事は休みが多くて楽だな」なんてことも。10/12～19は図書館お休みです。皆さんどうかご理解をお願いします。はい、今言いました。「聞いてなかった」とは言わないでくださいね。 つづく

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 陶芸教室
4 水彩画WS	5	6 赤ちゃんおはなし会	7	8	9	10 陶芸教室
11 カレードシネマ	12	13	14	15	16	17 陶芸教室
18 こどもおはなし会	19	20	21	22 料理教室	23	24 陶芸教室 市民歴史講座 × 図書館上映会
25 かがく実験教室	26	27	28	29	30	

図書館展示情報

一般展示 これからの防災

9月1日は「防災の日」です。最近、6月の能登地方での地震や8月の大雨による土砂崩れ、河川の氾濫など身近なところで災害が続いています。そこで、災害について書かれた本や、防災・減災について参考になる本を集めました。いざという時、自分の身を守るためには、日頃の備えが大切です。この機会に改めて考えてみませんか。

YA展示 教科書に載っていたあの小説

「羅生門」「山月記」「舞姫」「こころ」など教科書で読んだ方も多いいのでは？あの話の結末はどんなだったっけ？あの作家の他の作品も読んでみたい！そんな方のために教科書を中心に載っていた小説を集めてみました。読書の秋にもう一度読んでみませんか？

児童展示 アイヌの杜ののいちモシリ

9/24㊥に行う、市民歴史講座と図書館上映会（カレードシネマ）のコラボイベントはアイヌがテーマ。ということで、北の大地でくらすアイヌの人たちの本をあつめました。ふしぎでかわいいアイヌ語や、伝統的な文様にふれてみてください。



このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報は
こちらから！

9月カレードイベント情報！

安野光雅『旅の絵本X』パネル展

日時／9月3日㊥～25日㊤ 9:00～22:00（水曜休館）
会場／オープンギャラリー 入場無料
画家・絵本作家・安野光雅氏の「旅の絵本」シリーズ最新刊『旅の絵本X オランダ編』の刊行を記念し、大型パネルで展示します。

水彩画体験ワークショップ開催

『安野光雅風水彩画を描いてみよう』
日時／9月4日㊤ 10:00～12:00
会場／創作スタジオ1 講師／荒木幸子氏（洋画家）
対象／小学生（保護者同伴不要） 定員：12名
持物／水彩画セット（水彩絵具、筆、パレット）、タオル
申込／お電話またはカウンターまで

市民歴史講座 × 図書館上映会コラボイベント

講座「加賀を通る有名人たち」 上映会「永遠のニシパ」

日時／9月24日㊥ 会場：研修室・会議室
講座：13:00～14:30（事前申込制）
上映会：14:40～16:00（申込不要・当日先着順）
定員／各50名 対象／どなたでも
講師／水毛生貴之（カレードスタッフ）
講座のお申込み／お電話またはカウンターまで

講座では、北海道開拓使・松浦武四郎などの有名人に注目します。上映会では、松本潤さん、深田恭子さんなど豪華キャスト陣による北海道誕生の物語をお届けします。たくさんのご参加、お待ちしております！
※イベントは変更・中止となる可能性があります。予めご了承ください。

カレードシネマ 「ゴースト ニューヨークの幻」

日時／9月11日㊤ 13:00開演
13:30～ブックトーク、その後上映会
会場／音楽スタジオ 定員／50名（当日先着順）

陶芸家のモリーと恋人のサムと一緒にろくろを回すロマンティックなシーンが有名な、古き良きファンタジーラフストーリーです。恋人を守るアクションシーンはハラハラが止まりません。インチキ霊媒師のオダ・メイが、インチキでなくなっていく様子も見どころです。併せて2階YAフロアでは、中高生向けのYA図書を中心とした恋愛小説などの展示も行っております。ぜひ、甘く切ない恋の物語に思いを馳せてみてください♡

蔵書点検による図書館休館のお知らせ

蔵書点検のため、下記の期間は図書館が休館となります。

10月12日(水)～19日(水)まで

資料の閲覧・貸出、学習室の利用はできません。
※ブックポストへの図書の返却、インターネットによる図書の予約、電子書籍の貸出は、蔵書点検中でも支障なく利用できます。
※CD、DVD、大型絵本、他館からの資料などは上記期間以外に返却してください。
※上記期間中、学習室、グループ学習室の利用はできません。
※市民学習センター（各スタジオ）は通常通り開館しています（毎週水曜休み）。

今月のおすすめ本

『ミッドナイト・ライブラリー』

著者：マツ・ヘイグ 訳者：浅倉卓弥 出版者：ハーパーコリンズ・ジャパン 分類ラベル：933.7

主人公ノーラは、数年前に父母を失い、結婚は取りやめ、兄や親友とも疎遠に。さらに飼った猫を亡くし、失業します。そんな人生最悪の時、ノーラの前に不思議な「真夜中の図書館」が現れました。そこには普通だった学校の司書がいて、書架から本を選ぶと「自分が選ばなかった人生」を「試す」ことができると聞かされます。

オリンピックの競泳選手、ミュージシャン、哲学者、誰かの伴侶、氷河の研究者……。もともとノーラは賢く有能な女性で、何にでもなれる可能性がありました。生きることを終わりにしたい一方で、いったいどの生き方を選べば正解なのかとあがくノーラに、最後までどきどきさせられます。

また、この作品は実在する哲学者や作家の名前、著書、名言がたくさん登場するので、本が好きな人ほど楽しめます。ちなみにこの「真夜中の図書館」は、人によってレンタルショップや画廊、レストランなど違うかたちで現れるそうです。もしそんな「選ばなかった人生を試す」舞台装置が自分の前に現れるとしたら、いったいどんな空間なのでしょう。あなたの前にカレードが現れたら、もちろん本を選ぶお手伝いをいたしますね。 (スタッフT)

こちらの本は、カレードと富奥公民館に1冊ずつ所蔵しています。